

2023年度 活動方針(案)

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せる中、旅行支援等政府の経済支援によって経済も活発になり消費も上向きになってきたが、国内では、金利差や原材料の価格高騰による物価高が国民の生活に悪影響を及ぼしています。特に、高齢者や弱い立場の家庭には、深刻な状況を生み出しています。世界では、ロシアによるウクライナ侵略という許しがたい戦争が起こつてもう1年4ヶ月が経ちます。私たちのできることは何なのかを考えながら、一日でも早く和平になることを願っています。

昨年、岸田政権は、台湾有事等の理由をつけ、またバイデン政権の要求により、安保3文書の改正が閣議決定され膨大な防衛費が予算化されました。憲法第9条に反する状況が生み出され、ますますきな臭い方向に進むのではないかと危惧しています。

また、ここ3年間は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、いろいろな行事に制限を加えてきましたが、今年度から総会を含め、いろいろな行事を感染防止対策を十分取りながら対面で行えることが嬉しく思います。

2. 組織状況

- ① 会員数 213人（内、再任用等 20人） [2023年6月1日現在]
- ② 幹事会 顧問を含め31人（内、女性8人）

3. 活動の柱（基本的な考え方）

- ① 会員の親睦・交流・助け合いをはかる。
- ② 生活情報を提供し、退職者の生活の安定と向上をめざして取り組む。
- ③ 中央の日本退職教職員協議会（日退教）の方針に基づき、民主教育を守り、全国や近畿の仲間とともに「現退一致」で退職者運動をすすめる。また、日本退職者連合（退職者連合）の運動に参加する。

4. 活動内容 主な活動内容

- ① 親睦を大切にする～<春・秋のバスツアー>
 - ・今年度は、春から実施して秋につなげる。5月に春のバスツアーを行い、秋も実施を考える。
(生きがい支援事業と連携して)
- ② 身体を動かす～<スポーツ教室>
 - ・5月に、ヨガ教室、10月に、グランドゴルフ大会を行う。（せせらぎ運動公園にて）
(生きがい支援事業と連携して)
- ③ 頭を働かせる～<年に1～2回、学習会を行う>
 - ・高齢者の暮らしに関わる制度などについての学習会を行う。
 - ・平和や環境に関わる社会問題などについての学習会を行う。
- ④ 心を豊かにする～<生きがい支援・・・年に1～2回、文化的な行事を行う>

- ・11月に「絵画教室」を開く。(生きがい支援事業と連携して)

⑤ 情報提供

- ・年に4～5回「日退教和歌山新聞」を発行する。

(日退教和歌山新聞をもっと充実したものにするために、会員の皆さまの近況や旅行記、いま思うこと、いろいろな協力要請などの記事を募集します。お寄せください。)

- ・日退教や他府県の退教と日教組や日教組和歌山との情報を会員と共有する

⑥ 組織拡大

- ・4月初めから、22年度の退職者を中心に加入を働きかける。

⑦ 後援会(選挙)活動

- ・日政連議員(国・県・市)への行政に関わる質問・要望などの声を聞く取り組みを行う。

必要に応じて、日政連議員(藤本まり子県議、山本ただすけ市議)と一緒に行動する。

- ・必要な状況が生じた場合は、日教組や連合和退連の状況を見て活動する。

⑧ 総会

- ・毎年6月に開き、その年度の活動の承認をいただき、会員さんが集える機会とする。

⑨ 幹事会

- ・年4～5回、活動の柱の具現化するための具体的な取り組みについて協議し実施する

- ・女性の幹事を増やし、女性参画を進める。

⑩ 事務局会

- ・必要のあるときに開き、活動の運営等について協議する。